

## データ分析項目検討体制\_打合せ

2023.10.11

検討体制構成員		
氏名	職名	
小松 幹一郎	地域医療構想アドバイザー・医師会理事（地域医療）・病院協会副会長	
菅 泰博	病院協会副会長	
鈴木 龍太	病院協会常任理事・日本慢性期医療協会常任理事・神奈川県慢性期医療協会会長	
磯崎 哲男	医師会理事（在宅医療）	

オブザーバー		
氏名	職名	所属
山崎 元靖	県健康医療局 感染症対策担当部長	県医療危機対策本部室

分析チーム		
氏名	職名	専門分野
清水 沙友里	横浜市立大学 医学群データサイエンス研究科 講師（実務責任者）	ビッグデータ解析

システム関係		
氏名	職名	業務内容
山本 純平	ワークログ株式会社 代表取締役	プロジェクトマネージャー

1

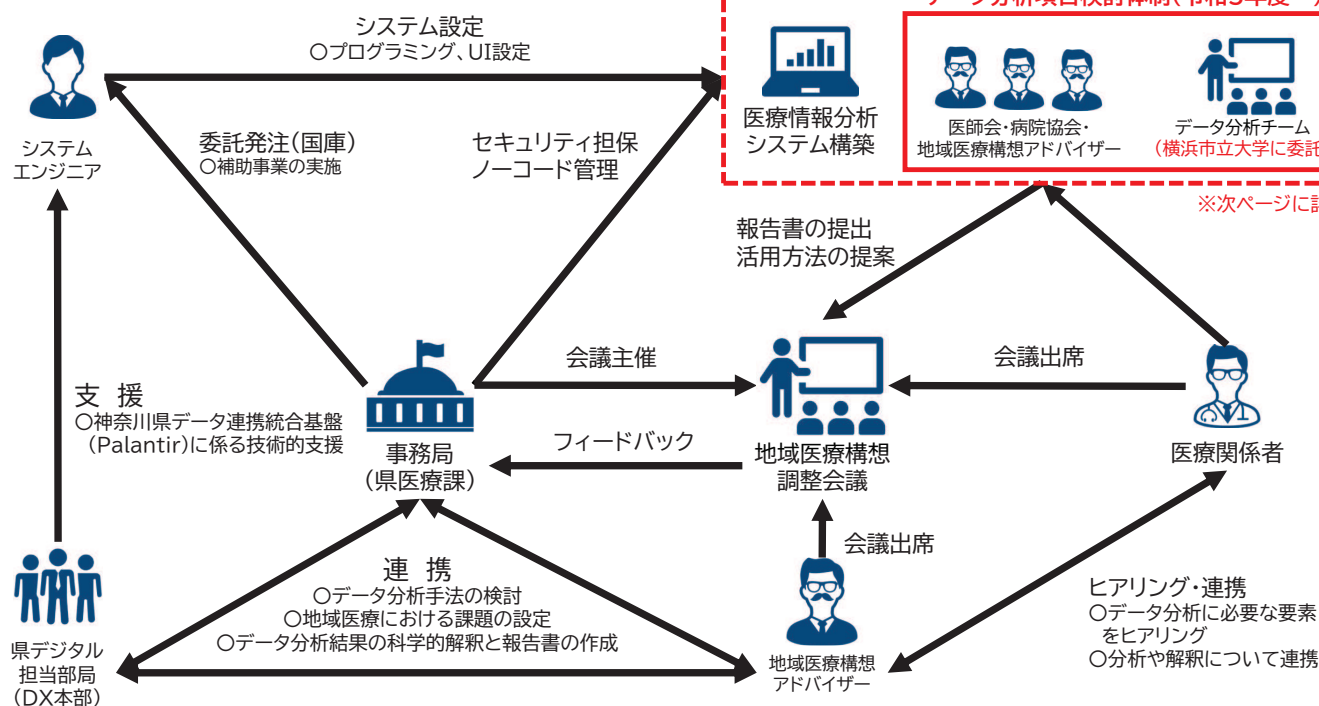
## 本日の次第

- データ分析イメージについて
  - 横浜市立大学 清水先生 より説明
- Tableauを使用した公表イメージについて
  - 医療課 由利課長代理 より説明
- 意見交換・質疑応答

【参考資料】 分析項目検討体制の概要

2

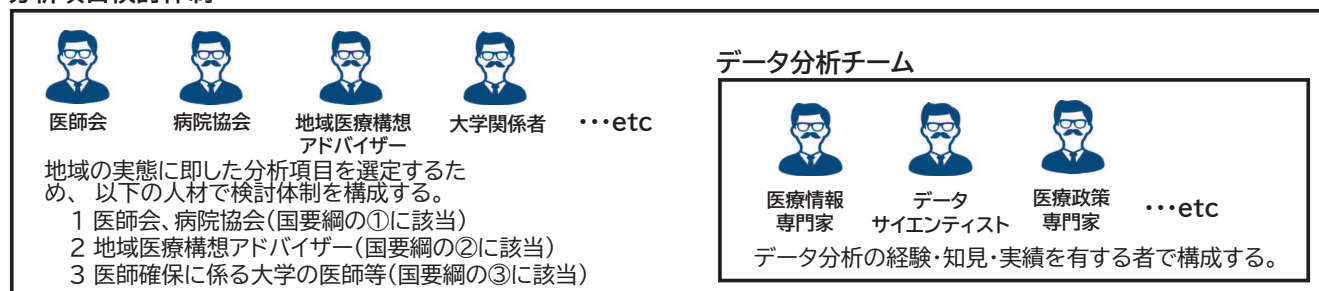
# 構築体制図（全体図）



# データ分析項目検討体制

・分析項目検討体制は、地域の実情を理解した県内医療関係者とデータ分析チームで構成する。

## 分析項目検討体制



○ 県医師会にヒアリングを実施し、急性期の病床のみならず、回復期、慢性期、在宅医療、高齢者施設も含めた分野からの意見を参考にしようアドバイスを受けた。

○ そのうえで、県としては地域バランスも加味し、検討体制構成員を(案)のとおりとしたい。

○ データ分析チームに関しては、横浜市立大学の清水講師が、ヘルスデータに関するビッグデータ解析の知見や経験を有するとともに、医療データ分析分野の国の第一人者である伏見教授の門下生のため、伏見教授のバックアップも得られることから、横浜市立大学に委託した。

(横浜市立大学は、医学部とデータサイエンス学部を併せ持つ国内唯一大学であり、実践的研究に取り組んでいる。)